



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月24日

上場会社名 株式会社篠崎屋

上場取引所 東

コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiva.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長 (氏名) 矢立 実
兼IR室長

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	3,297	4.9	108	—	110	—	83	—
28年9月期第3四半期	3,143	△9.8	△5	—	△4	—	△25	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	5.92	—
28年9月期第3四半期	△1.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	1,714	1,258	73.4	88.91
28年9月期	1,563	1,189	76.0	83.99

(参考)自己資本 29年9月期第3四半期 1,258百万円 28年9月期 1,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

業績予想の策定に伴い、その内容等を勘案し配当予想を決定いたしました。

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,219	4.9	82	—	83	—	57	—	4.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、予想値を策定いたしましたので、公表することといたしました。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期3Q	14,436,600 株	28年9月期	14,436,600 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年9月期3Q	278,800 株	28年9月期	278,800 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期3Q	14,157,800 株	28年9月期3Q	14,186,386 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の売上高は3,297,931千円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は108,969千円(前年同四半期は営業損失5,755千円)、経常利益は110,000千円(前年同四半期は経常損失4,926千円)、四半期純利益は83,813千円(前年同四半期は四半期純損失25,678千円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当事業年度におきましては、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

商品につきましては、消費者にとって価値のある商品づくりを目指し、豆腐、豆乳、おから等を使用した「茂蔵オリジナル商品」、それ以外の厳選された「茂蔵定番商品」、協力工場等からの「本日のお買い得品」の3つに分類し、この中でも特に茂蔵でしか購入することのできない「茂蔵オリジナル商品」の新商品開発及び既存商品のリニューアルを強化してまいりました。

既存商品につきましては、量目をボリュームアップ等することで価格の見直しを行ってまいりました。さらに、自社の製造部門にて「茂蔵オリジナル商品」を開発・強化し、商品開発のスピードを上げることで、売上高及び利益の増加を図ってまいりました。

店舗におきましては、前事業年度に実施したパッケージの統一化による「より分かり易く」することによる茂蔵ブランドの認知度向上を引き続き推し進め、販売形態の見直しとなる多段棚の有効活用を検証してまいりました。なお、既存業態を2店舗出店しましたが、引き続き、店舗運営等のマニュアル作成に取り組み、売上等の結果検証を行い、出店再開の準備を進めてまいりました。

これらにより、1店舗平均の顧客数は、店舗での販売形態の見直しの影響等もあり、前年同四半期比97.1%となりました。一方で、1商品あたり買上単価は前年同四半期比113.0%となったことが大きく貢献し、1店舗平均の顧客単価は同109.4%となりました。なお、一人あたりの買上点数は前事業年度を下回りましたが、前事業年度に取扱アイテム数を増加したことにより、前々事業年度との比較においては103.2%と増加しております。

売上総利益率につきましては、価格の見直しを行ったことで商品売上原価率が前年同四半期比1.9P改善したことが要因となり、30.8%と前年同四半期と比較し1.8P上昇しました。

営業利益につきましては、前事業年度において不採算店舗を閉店したことにより、販管費の売上高構成比が1.7P減少したことが要因となり前年同四半期と比較し3.5P上昇し、93,056千円の増加となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は2,735,997千円(前年同四半期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)は171,049千円(前年同四半期比119.3%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は561,933千円(前年同四半期比65.2%増)、セグメント利益(営業利益)は30,982千円(前年同四半期比2.7%増)となりました。

なお、当第3四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第3四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	55	2	3	54
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	133	31	8	156
合計		188	33	11	210

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して150,698千円増加し1,714,368千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加145,369千円、売掛金の増加19,792千円及び商品の増加22,519千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して81,043千円増加し455,553千円となりました。主な要因は、買掛金の増加49,301千円、未払金の増加29,794千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して69,655千円増加し1,258,815千円となりました。これは四半期純利益83,813千円の計上と配当金14,157千円の支払により利益剰余金が69,655千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんでした。現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当第3四半期累計期間の直営店舗における売上高は前年同四半期比で97.6%となりました。第4四半期会計期間の直営店舗の売上高につきましては、顧客数の減少を顧客単価で補えるよう対策を講じております。しかし、天候等の外部変動要因の厳しさを考慮し、直近の実績に基づいて策定いたしました。

営業費用につきましては、当第3四半期累計期間の実績を前提に第4四半期会計期間分を見積もり、利益予想を策定いたしました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	328,838	474,208
売掛金	111,808	131,601
商品	65,422	87,941
貯蔵品	1,655	1,679
その他	45,350	42,687
貸倒引当金	△40	△50
流動資産合計	553,035	738,068
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	121,855	111,698
構築物(純額)	9,705	8,659
工具、器具及び備品(純額)	26,815	21,905
土地	562,970	562,970
その他(純額)	5,754	4,801
有形固定資産合計	727,101	710,034
無形固定資産	19,666	15,931
投資その他の資産		
敷金及び保証金	184,942	176,256
その他	79,162	74,305
貸倒引当金	△239	△229
投資その他の資産合計	263,866	250,333
固定資産合計	1,010,634	976,300
資産合計	1,563,669	1,714,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,599	281,900
未払金	56,896	86,691
未払費用	42,730	44,045
未払法人税等	26,678	32,934
債務保証損失引当金	8,550	4,050
その他	5,960	4,837
流動負債合計	373,415	454,458
固定負債	1,094	1,094
負債合計	374,510	455,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	109,383	179,039
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,188,934	1,258,590
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	224	224
評価・換算差額等	224	224
純資産合計	1,189,159	1,258,815
負債純資産合計	1,563,669	1,714,368

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,143,537	3,297,931
売上原価	2,265,042	2,332,959
売上総利益	878,494	964,971
販売費及び一般管理費	884,250	856,002
営業利益又は営業損失(△)	△5,755	108,969
営業外収益		
受取利息	193	121
未払配当金除斥益	—	456
受取保険金	445	300
償却債権取立益	240	—
その他	147	231
営業外収益合計	1,026	1,109
営業外費用		
その他	197	79
営業外費用合計	197	79
経常利益又は経常損失(△)	△4,926	110,000
特別利益		
固定資産売却益	472	—
債務保証損失引当金戻入額	2,250	2,250
特別利益合計	2,722	2,250
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	—	95
店舗閉鎖損失	8,257	1,309
特別損失合計	8,257	1,404
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△10,462	110,845
法人税、住民税及び事業税	15,216	27,032
法人税等合計	15,216	27,032
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,678	83,813

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,803,344	340,192	3,143,537	—	3,143,537
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,803,344	340,192	3,143,537	—	3,143,537
セグメント利益	77,992	30,176	108,169	△113,925	△5,755

(注) 1. セグメント損益の調整額△113,925千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,735,997	561,933	3,297,931	—	3,297,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,735,997	561,933	3,297,931	—	3,297,931
セグメント利益	171,049	30,982	202,031	△93,061	108,969

(注) 1. セグメント損益の調整額△93,061千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。